



“Lantaw Floating Native Restaurant”

イシクルが全く見つからない。声をかけてくるのはトライシカットと呼ばれる自転車の横にかごがついた乗り物で、ぼったくりの値段を提案してくる運転手ばかり。結局2人乗りのトライシカットを4人で乗るといふ、少々不安な提案で交渉成立した。料金は相場の3倍以上の1人40ペソだった。人力で定員の2倍を乗せた運転手は、案の定へとへとになりながら私たちをバンステーションまで送ってくれた。さらにチップを要求してきたがそれは断り、そこからは順調に寮まで戻れた。今回の旅で、ジブニー、バン、トライシクル、トライシカットと4種類ものユニークな乗り物に乗ることができた。もし、セブに観光に来ているだけだったらこのような体験はしないだろう。留学ならではの貴重な冒険だった。



Selamat Pagi! Malaysia

～マレーシアの旅～

現代中国学部2年 角田 涼希

今年の春学期に現地プログラムでマレーシアに行きました。なぜマレーシアを現地プログラム先を選んだかという自分の中で現地プログラム先が中国・台湾・マレーシアとある中で1番ナゾな国だったからです！現地プログラム前は「現地プログラムでマレーシア行くけど、マレーシアに中国語話す人なんかおるんかな～」というのが正直な気持ちでした。実はマレーシアは7割のマレー系、2割の中国系（華僑）、と1割のインド系の人々が暮らす多民族国家です。国教はイスラム教で私の語学パートナーは中国系でキリスト教を信仰する人でした。この事だけでも「世界にはいろんな人がいるな～」と感じるものが多くあり、「多民族国家の国って、めっちゃ知らへんことあるし、面白いんちゃう！」と思ったのはこの事を知ってからでした。それから私は旅行が好きなのでマレーシアの色



マラッカ教会



ザビエル像

んな場所に行ってみたい!と思いました。旅行した中でも1番自分の中でグッと感じたマラッカについて話したいと思います。

マラッカはマレーシア西部にある世界遺産の街で有名な都市です。

まず訪れたのは赤いキリスト教の教会です。教会の周りには噴水などがあり、インスタ映えるような場所でマラッカ観光のホームページでも最初に書かれている有名な場所です。マラッカは統治時代の歴史的建造物が多く、カラフルな街並みやウォールアートが描かれてあ



ジョンカーストリート

り、歩いていて目がずっと楽しかったです。

また、サンチャゴ砦とその砦を上ったところにあるセントポール教会跡にも行きました。一見、「城跡やん!」と思って城好きな私は上ったのですが、ザビエルの銅像がドンと立っていて「あ、教会だ」と思いながら、ザビエル像の頭を見てしまいました。髪の毛がありました。そんなイメージを持っているのも日本人だけなのかな?とこうして旅行をすると色んなハテナが浮かんできて、それが旅行の1つの楽しみでもあります。ここは海とマラッカの街が一望できる景色の綺麗な場所でした。

最後に私はマラッカで「世界ってすごい!」と感動させられた場所があります。そこはジョンカーストリートという夜市で賑わう通りがあるのですが、想像してみてください!ヨーロッパ系の観光客、地元のムスリムの人、インド系の人そして中国系の人など色んな民族がこの1本の通りで賑わっている様子を…。

この現地プログラムで得た体験はかけがえのないもので、マレーシアを選んで良かったと思いました。



留学生から見た日本の マンガ・アニメの魅力

国際コミュニケーション学部
高村 めぐみ

愛大の留学生に「日本語を勉強し始めたきっかけは何ですか?」と聞くと、「小さいときに